

第8節 付 属 機 関 等

1 福島県後期中等教育審議会

(1) 昭和60年度福島県後期中等教育審議会委員

氏 名	役 職 名	備 考
会 田 長 栄	福島県教職員組合中央執行委員長	副会長 会 長
手 塚 達 雄	福島県高等学校PTA連合会長	
伊 藤 修 二	福島民友新聞社論説委員長	
大 槻 進	福島県高等学校長協会会長	
六 戸 昌 夫	福島県高等学校教職員組合執行委員長	
太 田 美 恵 子	福島県市町村教育委員会連絡協議会長	
太 田 緑 子	福島県社会福祉協議会長	
斎 藤 範 幸	福島民報社常務取締役編集局長	
大 和 郭 二	福島県産業教育審議会委員	
佐 藤 光		
佐 藤 保 太 郎	福島県立福島農蚕高等学校長	
箭 内 洪 一 郎	福島県中学校長会長	
塚 原 進	福島県立医科大学教授	
遠 藤 徳	福島県中学校長会進路対策部長	
平 山 正 秋		
森 功	福島県私立中学高等学校協会会長	
唐 橋 東	喜多方市長	
大 須 賀 長 安	長沼町長・県町村会長	
亀 岡 義 彦	県議会議員	
武 田 裕 子	県議会議員	
高 城 勤 治	総務部長	
船 尾 允 也	商工労働部長	
菊 池 貞 夫	生活福祉部長	

(3) 審議会及び専門調査委員会の審議・調査経過概要

年度	開催日	会 議 区 分		審 議 内 容
		審 議 会	専 門 調 査 委 員 会	
60	7.19	第 1 回		1 「公立高等学校の適正配置と学科の編制について」諮問を受け、当面の問題点について審議 2 専門調査委員会の設置を決定
	10.16		第 1 回	1 座長選出 2 諮問事項について協議
	11.6		第 2 回	1 調査結果の協議 2 調査経過報告の検討
	11.29	第 2 回		1 専門調査委員会の調査経過報告 2 専門調査員会報告について審議
	2.14		第 3 回	調査結果の協議

2 福島県産業教育審議会

(1) 福島県産業教育審議会委員名(昭和60年度)

	氏 名	公 職 名	
会 長	佐 藤 盛 男	福島県産業教育振興会理事長 福島市商工会議所副会頭	新任
	大 和 郭 二	福島市商工会議所常議員	新任
	舟 山 角 三	福島県農業協同組合中央会長	
	高 田 兼 芳	福島県議会議員	新任
	海 野 清 瀬	福島県婦人団体連合会事務局長	
	佐 藤 保 太 郎	福島県立福島農蚕高等学校長	
副会長	小松原 格	福島県立福島工業高等学校長	
	森 修 一	福島県立福島商業高等学校長	新任
	会 田 長 栄	福島県労働組合協議会議長	
	六 戸 昌 夫	福島県高等学校教職員組合執行委員長	
	高 城 勤 治	福島県総務部長	再任

(2) 昭和60年度福島県後期中等教育審議会専門調査員

氏 名	役 職 名	備 考
鈴 木 善 弘	福島大学教育学部教授	座 長
若 杉 栄	福島女子高等学校長	
鹿 又 稔	安達東高等学校長	
小松原 格	福島工業高等学校長	
森 修 一	福島商業高等学校長	
郡 司 梧 郎	郡山女子高等学校長	
飯 高 延 由	福島中央高等学校長	
廣 瀬 成 裕	喜多方市立第三中学校長	
庄 司 勝 雄	郡山市立小原田中学校長	

(2) 諮 問

① 諮問期日 昭和60年7月18日(木)

② 諮問文

「特色ある職業教育の推進について」(諮問)

産業教育振興法第12条に基づき、下記のとおり理由を添えて諮問します。

記

諮問理由

近年の科学技術の発達に伴う社会経済の進展は、先端技術産業や、新しい職業分野の拡大を促進し、産業構造や就業構造が大きく変容しております。このため、職業教育に対する社会の要請に変化がみられ、職業教育のあり方について、改善が求められております。

一方、高等学校への進学率が上昇し、生徒の能力・適性及び進路等の多様化は著しく、職業教育においても、多くの困難な課題が生じております。